



あなたの思いを 文字で伝える お手伝い

はいけませんし、特にキャッチコピーは声に出した時のリズム感が大事です。

ここからがスタート

私はこれまで様々な業種に関わり、専門用語や表現方法などを学んできました。例えば、医療分野で使ってはいけない言い回しなど、最近ようやく経験に基づくアドバイスができるようになり、ここからがスタートだと感じています。今後は業種に対応したアドバイスでサービスの精度を高め、特に食の分野では、資格と経験を活かした商品開発やメニュー提案、マーケティングや広告戦略などの販売促進のお手伝いを強化していきたいと考えています。

人の繋がりを大事に

個人事業主は孤独ですが、沢山の人の応援して貰いここまで来ることができました。商工会議所との出会いもそうです。開業手続きを教えていただいたり、パソコンセミナー（※1）の受講や共済制度（※2）の加入など、1人で悩まず色々相談しています。文字と関わって17年ですが、事業主としては1年生。これからも人の繋がりを大事にして、頂いたアドバイスを活かしながら頑張っていきたいと思います。



※1 パソコンセミナーとは
PowerPointや弥生会計などのIT講座を実施しています。年内は9月販売促進セミナー、10月ネットショップ講座を開催予定です。
※2 共済制度とは
生命共済を始め退職金共済や医療保険等、各種制度を取り扱っています。



文字のおしごと KIBO LABO

代表者：水岡 希久子
所在地：山口市米屋町2-7 mirai365

TEL：080-4269-3014
FAX：083-902-1366
E-mail：kibo_lab@shirt.ocn.ne.jp
事業内容：ライター

文字の仕事との出会い

私と文字の仕事との出会いは、平成12年7月。東京の出版社に採用されたことが切っ掛けでした。それまでは東京の専門学校で音楽を学んでいて、文章を書くのもパソコンも苦手。どんな出会いがあるか分からないものです。最初の仕事はテレビ欄で、限られた文字数で番組内容をいかに伝えるか日々頭を捻っていました。当時はGコードも記載していたので本当に大変でしたよ。出版社での仕事は、教えて貰うというよりとにかく実践あるのみで、体力的にも精神的にも鍛えられました。

山口にUターン

雑誌記者として4年勤務した後、山口にUターン。7年振りの山口での生活は、地元の安心感に加えて、ご飯の美味しさや車の便利さなど、居心地良く感じました。仕事探しは大変でしたが、雑誌社での経験を活かしてタウン情報誌やフリーペーパー、企業のパンフレット作成に関わりました。また、ライターの仕事以外に、友人の居酒屋を手伝うようになり、飲食業経営にも関わるようになったことを契機に調理師免許を取得。調理だけでなく、メニュー



作成したパンフレット

作りや販売促進など幅広く経験することができました。

ライターとしての説得力

当時リーマンショックの影響で印刷会社が次々と倒れていき、社会が変化の中で自分の



旅冊子も担当しました

将来を不安に感じたこともありました。調理師免許は相手を説得する力になりますが、ライターに確かな資格はありません。ライターとして説得力を得るには、経験以外に会社を持つことが必要なのではと感じて平成29年1月に起業。屋号は分かりやすく「文字のおしごと」を入れました。

言葉選びはお客様と一緒に

現在は、主に紙面やウェブのコンテンツ作成を行っています。最近ではHP以外にSNSなど情報発信ツールが増えており、これらを上手く活用するためにも言葉選びは大切です。私はお客様と一緒に作り上げていくことを心掛けていて、内容が想像できる分かりやすい言葉や表現を探っていきます。読んでいて疲れる文章で